

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社ファインシスター 上場取引所 東・名  
 コード番号 5994 URL http://www.fine-sinter.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 鈴木 哲彦 (TEL) 0568-88-4355  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,877	1.9	548	△43.8	492	△34.7	210	△38.7
29年3月期第2四半期	18,518	△4.3	976	△3.3	755	△19.5	343	△33.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 799百万円( -%) 29年3月期第2四半期 △254百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	47.86	-
29年3月期第2四半期	78.01	-

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	45,986	18,372	35.5	3,713.70
29年3月期	43,394	17,907	36.7	3,615.97

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,345百万円 29年3月期 15,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	6.00	-	40.00	-
30年3月期	-	35.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。平成29年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は70円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	38,000	1.4	2,300	2.4	2,100	2.5	1,100	249.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,420,000株	29年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	18,509株	29年3月期	18,468株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	4,401,506株	29年3月期2Q	4,401,859株

(注) 平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では依然として個人消費が伸長し、中国を含むアジア経済も底堅い内需と輸出の好調を背景に総じて拡大基調にあります。また、わが国経済も緩やかな景気回復が続いております。

当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、国内市場は新型車の投入効果により、前年同期比で増加した一方、米国では乗用車販売が減少しております。

こうした状況の中、当社グループは米国第2工場を新設し、トヨタTNGA新規製品や自動変速機用部品等を本年8月から本格的に量産を開始いたしました。生産準備費用の負担増や原材料市況の世界的な上昇等が利益を圧迫しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,877百万円と前年同四半期に比べ359百万円(1.9%)の増収、営業利益は548百万円と前年同四半期と比べ427百万円(43.8%)の減益、経常利益は492百万円と前年同四半期と比べ262百万円(34.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円と前年同四半期と比べ132百万円(38.7%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、上記のとおりであります。また、鉄道車両用部品につきましては、新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加で売上増となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17,896百万円と前年同四半期と比べ251百万円(1.4%)の増収となり、セグメント利益につきましては、1,263百万円と前年同四半期と比べ412百万円(24.6%)の減益となりました。

#### ②油圧機器製品事業

主に国内・北米・アジアのデンタルチェア用が大きく売上を伸ばし好調に推移しました。一方、国内の画像診断機器(CT・MRI)用につきましては、メーカーの在庫調整等により減少となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は975百万円と前年同四半期と比べ108百万円(12.5%)の増収となり、セグメント利益につきましては、282百万円と前年同四半期と比べ60百万円(27.0%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比808百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末比468百万円増)等により、18,119百万円(前連結会計年度末比1,765百万円増)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比733百万円増)等により、27,867百万円(前連結会計年度末比827百万円増)となりました。

以上により、資産合計は45,986百万円(前連結会計年度末比2,592百万円増)となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加(前連結会計年度末比500百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(前連結会計年度末比238百万円増)等により、17,655百万円(前連結会計年度末比722百万円増)となりました。固定負債につきましては長期借入金の増加(前連結会計年度末比1,647百万円増)等により、9,959百万円(前連結会計年度末比1,405百万円増)となりました。

この結果、負債合計は27,614百万円(前連結会計年度末比2,127百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が34百万円増加、その他の包括利益累計額が395百万円増加したことにより、非支配株主持分を除くと16,345百万円(自己資本比率35.5%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年10月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,377,972	4,186,204
受取手形及び売掛金	7,366,118	7,834,743
電子記録債権	1,259,570	1,330,956
商品及び製品	564,986	553,978
仕掛品	1,328,056	1,406,635
原材料及び貯蔵品	1,756,890	1,933,883
繰延税金資産	359,788	484,473
その他	340,890	388,601
流動資産合計	16,354,273	18,119,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,061,242	13,265,397
減価償却累計額	△7,473,200	△7,675,381
建物及び構築物(純額)	5,588,042	5,590,015
機械装置及び運搬具	40,425,382	43,476,022
減価償却累計額	△31,500,251	△32,577,104
機械装置及び運搬具(純額)	8,925,131	10,898,917
工具、器具及び備品	4,924,390	5,315,269
減価償却累計額	△4,070,752	△4,388,255
工具、器具及び備品(純額)	853,638	927,014
土地	3,530,759	3,547,576
リース資産	1,014,481	532,154
減価償却累計額	△602,428	△353,573
リース資産(純額)	412,052	178,580
建設仮勘定	3,869,634	2,770,763
有形固定資産合計	23,179,257	23,912,867
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	112,796	92,097
その他	135,811	144,961
無形固定資産合計	260,016	248,466
投資その他の資産		
投資有価証券	2,425,429	2,647,796
長期貸付金	17,619	16,539
繰延税金資産	1,080,554	967,293
その他	87,312	84,568
貸倒引当金	△10,242	△10,242
投資その他の資産合計	3,600,673	3,705,956
固定資産合計	27,039,947	27,867,290
資産合計	43,394,221	45,986,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,153,529	3,197,027
電子記録債務	3,393,492	3,522,548
短期借入金	5,304,706	5,805,584
1年内返済予定の長期借入金	1,912,648	2,151,425
リース債務	142,924	113,114
未払法人税等	327,660	271,227
未払消費税等	168,631	134,604
未払費用	613,259	709,204
繰延税金負債	17,862	11,668
賞与引当金	905,633	961,363
役員賞与引当金	37,000	18,291
設備関係支払手形	42,275	34,987
その他	913,316	724,280
流動負債合計	16,932,942	17,655,328
固定負債		
長期借入金	3,582,958	5,230,706
リース債務	418,667	197,288
役員退職慰労引当金	94,623	75,441
退職給付に係る負債	4,098,189	4,096,633
資産除去債務	324,426	327,535
その他	34,926	31,653
固定負債合計	8,553,792	9,959,260
負債合計	25,486,735	27,614,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,722,945
利益剰余金	11,173,322	11,207,918
自己株式	△29,496	△29,581
株主資本合計	15,069,771	15,104,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,118,170	1,264,617
為替換算調整勘定	212,310	384,512
退職給付に係る調整累計額	△484,433	△407,597
その他の包括利益累計額合計	846,047	1,241,532
非支配株主持分	1,991,667	2,026,364
純資産合計	17,907,486	18,372,179
負債純資産合計	43,394,221	45,986,767

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,518,259	18,877,849
売上原価	15,619,272	16,279,644
売上総利益	2,898,986	2,598,205
販売費及び一般管理費	1,922,898	2,050,093
営業利益	976,088	548,111
営業外収益		
受取利息	5,402	3,869
受取配当金	25,077	35,004
為替差益	—	16,143
作業くず売却収入	9,055	13,585
雑収入	37,424	21,806
営業外収益合計	76,960	90,409
営業外費用		
支払利息	105,173	110,134
固定資産除却損	15,282	8,131
為替差損	156,505	—
雑支出	21,035	27,485
営業外費用合計	297,996	145,751
経常利益	755,051	492,769
税金等調整前四半期純利益	755,051	492,769
法人税等	245,369	166,099
四半期純利益	509,681	326,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	166,296	116,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	343,384	210,656

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	509,681	326,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,998	146,446
為替換算調整勘定	△873,368	249,840
退職給付に係る調整額	81,058	76,864
その他の包括利益合計	△764,311	473,152
四半期包括利益	△254,630	799,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202,047	604,390
非支配株主に係る四半期包括利益	△52,583	195,432



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

## 1. 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,645,598	867,631	18,513,229	5,029	18,518,259	—	18,518,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,645,598	867,631	18,513,229	5,029	18,518,259	—	18,518,259
セグメント利益	1,676,055	222,689	1,898,744	1,493	1,900,237	△924,149	976,088

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△924,149千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,896,914	975,859	18,872,774	5,075	18,877,849	—	18,877,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,896,914	975,859	18,872,774	5,075	18,877,849	—	18,877,849
セグメント利益	1,263,887	282,771	1,546,659	1,956	1,548,615	△1,000,503	548,111

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,000,503千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。